



福岡医発第2232号(地)

平成26年11月11日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松 田 峻一良

(公 印 省 略)

中国及び韓国における高病原性鳥インフルエンザの発生状況等について

今般、標記の件につきまして、別添のとおり福岡県農林水産部畜産課より保健医療介護部を通じて連絡がありました。

中国における高病原性鳥インフルエンザの発生状況については、本年10月24日付のOIE（国際獣疫事務局）の報告によると、農場、生鳥市場、野鳥生息地等を対象とする定期的なサーベランスのうち、9月中旬実施分の結果として、H5N1亜型ウイルス16件、H5N2亜型ウイルス8件、H5N3亜型ウイルス1件、H5N6亜型ウイルス24件及びH5N8亜型ウイルス2件といった多数の本病ウイルスの検出事例が報告されています。また、我が国への渡り鳥の経由地と考えられる中国東北部の黒龍江省北部や遼寧省渤海湾岸の湿地等でウイルスが検出されていることから、野鳥による我が国への本病ウイルスの侵入リスクは非常に高い状況にあると考えられます。

さらに、韓国においても本年9月以降も高病原性鳥インフルエンザ（H5N8亜型）の発生が報告されているところです。

つきましては、貴会におかれましても本件につきましてご了知いただき、鳥インフルエンザが疑われる患者等を診察した場合には、最寄りの保健所へ情報提供をしていただきますよう貴会会員への周知方よろしくお願いいたします。

小郡三井医師会より

感染症対策担当理事 田中泰之
会長 廣瀬真恵

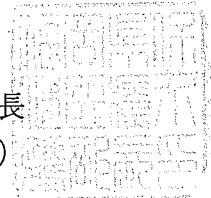
26保衛第2314号

平成26年11月5日

公益社団法人福岡県医師会長
公益社団法人福岡県獣医師会長

殿

福岡県保健医療介護部長
(保健衛生課感染症係)



中国及び韓国における高病原性鳥インフルエンザの発生状況等について

本県の保健医療行政の推進につきましては、平素から格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このことについて、福岡県農林水産部畜産課長から、別添（写）のとおり通知がありましたのでお知らせします。

(担当)

福岡県保健医療介護部
保健衛生課感染症係 中山
TEL:092-643-3268
FAX:092-643-3282



「公印省略」

26畜第2503号

平成26年10月31日

各農林事務所長
農林業総合試験場長
関係普及指導センター長
食の安全・地産地消課長
経営技術支援課長
保健医療介護部保健衛生課長

殿

農林水産部畜産課長

(衛 生 係)

中国及び韓国における高病原性鳥インフルエンザの発生状況等について（通知）

このことについて、別添写しのとおり、農林水産省消費・安全局動物衛生課長より通知がありましたのでお知らせします。

なお、飼養者及び関係者への周知・指導は、家畜保健衛生所が実施しておりますことを申し添えます。



写

26消安第3751号
平成26年10月27日

都道府県畜産主務部長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

中国における高病原性鳥インフルエンザの発生等に伴う関係者等への指導
の徹底について

高病原性鳥インフルエンザに係る防疫対策については、先般発出した「平成26年度における高病原性鳥インフルエンザ等の防疫対策の強化について」（平成26年9月4日付け26消安第2841号農林水産省消費・安全局長通知。以下「強化通知」という。）等により飼養衛生管理基準の遵守状況の確認、家きん飼養農家を含む畜産関係者等への注意喚起の徹底等をお願いしてきたところです。

さて、中国における高病原性鳥インフルエンザの発生状況については、これまでも中国政府から国際獣疫事務局（OIE）への発生報告等がなされる都度お知らせしてきておりますが、2014年10月24日付けのOIEへの報告によると、農場、生鳥市場、野鳥生息地等を対象とする定期的なサーベイランスのうち、9月中旬実施分の結果として、H5N1亜型ウイルス16件、H5N2亜型ウイルス8件、H5N3亜型ウイルス1件、H5N6亜型ウイルス24件及びH5N8亜型ウイルス2件といった多数の本病ウイルスの検出事例が報告されています（別紙1）。また、我が国への渡り鳥の経由地と考えられる中国東北部の黒龍江省北部や遼寧省渤海湾岸の湿地等でウイルスが検出されていることから、野鳥による我が国への本病ウイルスの侵入リスクは非常に高い状況にあると考えられます。

さらに、韓国においても別紙2のとおり、本年9月以降も高病原性鳥インフルエンザ（H5N8亜型）の発生が報告されているところです。

つきましては、中国及び韓国における本病のウイルスの検出及び発生状況について家きん飼養農家を含む畜産関係者等に対して広く周知するとともに、強化通知に基づき、高病原性鳥インフルエンザの発生予防措置の徹底及び監視体制の強化について再度御確認いただき、万全を期するようお願いいたします。

なお、今後も海外における高病原性鳥インフルエンザ等の家畜伝染病の発生状況等の必要な情報を当省ホームページ等を通じて積極的に公表してまいりますので、防疫体制の更なる充実のために参考としていただき、適切に御対応願います。

<農林水産省ホームページ：高病原性鳥インフルエンザに関する情報>

URL：<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>

平成 26 年 10 月 27 日
動物衛生課

【OIE 情報】中国における高病原性鳥インフルエンザの発生について

中国における高病原性鳥インフルエンザ（H5N1、H5N2、H5N3、H5N6及びH5N8）の発生について、OIEへ緊急報告及び続報がありましたので、お知らせします。

出典：OIEウェブサイト（2014年10月24日付け）

- ①（H5N1） http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=16342
- ②（H5N2） http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=16061
- ③（H5N3） http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=16344
- ④（H5N6） http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=16060
- ⑤（H5N8） http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=16378

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

【概要】

- ・発生数：51件
- ・発生日：2014年9月12日
- ・OIEへの報告日：2014年10月24日
- ・臨床徴候あり
- ・国家サーベイランス計画の中で摘発

【発生状況】

① H5N1：16件

- ・湖南省、広東省、貴州省、雲南省、チベット自治区、広西チワン族自治区、青海省、江蘇省
- ・市場、村

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
家きん※	-	18	0	0	0

※動物種：鶏、あひる、がちょう。このほか環境サンプルを含む。

② H5N2：8件

- ・寧夏回族自治区、湖北省、広西チワン族自治区、遼寧省、チベット自治区、黒龍江省
- ・農場、市場、湿地帯、湖

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
家きん※	6,254	12	0	6,253	0

※動物種：鶏、あひる。このほか環境サンプルを含む。

③ H5N3 : 1 件

- ・ 湖南省
- ・ 市場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
家きん※	-	1	0	0	0

※動物種：あひる

④ H5N6 : 24件

- ・ 貴州省、チベット自治区、湖北省、広東省、浙江省、湖南省、河北省、広西チワン族自治区、安徽省、重慶市、福建省、黒龍江省、雲南省
- ・ 農場、市場、湖

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
家きん※	1,421	28	0	1,421	0

※動物種：鶏、あひる、がちょう。このほか環境サンプルを含む。

⑤ H5N8 : 2 件

- ・ 遼寧省
- ・ と畜場、湿地帯

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
家きん※	-	2	0	0	0

※動物種：あひる。このほか環境サンプルを含む

【疫学情報】

- ・ 感染源：不明または調査中

【対応】

- ・ 隔離※
- ・ 淘汰※
- ・ 国内における移動制限※
- ・ スクリーニング※
- ・ ゾーニング※
- ・ 施設等の消毒※
- ・ 発生に対応したワクチン接種は実施していない
- ・ 患畜を治療対象としない

(※①～⑤の報告毎に異なる。)

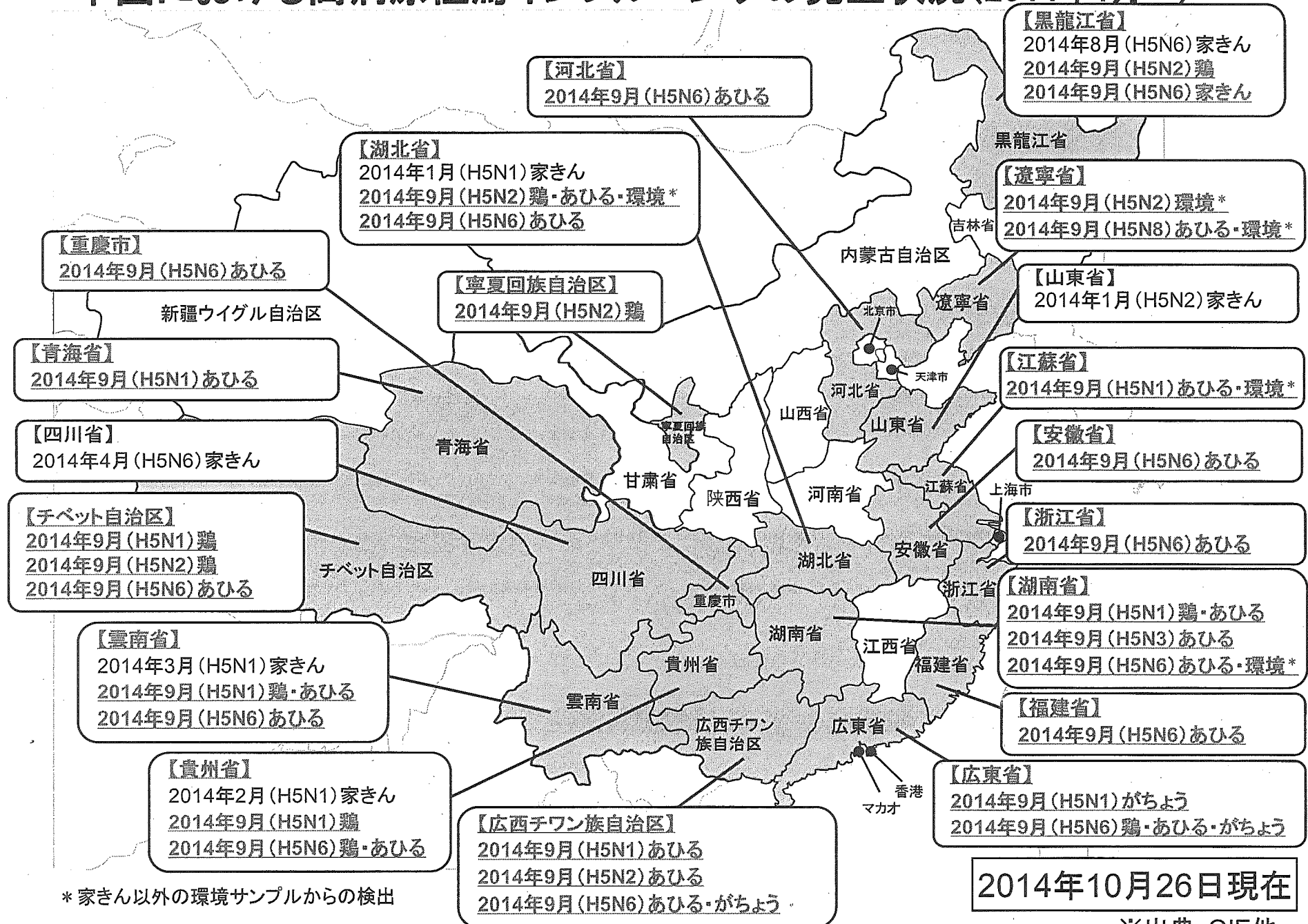
【診断】

- ・ 診断施設：中国農業科学院ハルビン獣医研究所（OIEリファレンスラボラトリー）
- ・ 診断法：RT-PCR、ウイルス分離（いずれも陽性、2014年9月15日）

(参考情報) 今回の発生地点の補足

- ・ H5N6亜型ウイルスが確認された黒龍江省鶴崗市は、アムール川に近く、自然湿地も多く残っていることからガンカモ類が多いとされている。また、朝鮮半島経由や日本海経由で本地点から日本に渡ってくる渡り鳥も多いことが知られている。
- ・ H5N8亜型ウイルスが確認された遼寧省盤錦市は、渤海湾北部に位置し、環境サンプルを採取した遼河の河口は渡り鳥の大規模中継地となっている。本地点は、中国の東北部以北から南部へと渡る鳥と、内モンゴル等の内陸部から朝鮮半島へ向かう水鳥たちの中継地となっている。

中国における高病原性鳥インフルエンザの発生状況(2014年1月～)



事 務 連 絡

平成 26 年 10 月 30 日

都道府県畜産主務課長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課
家 畜 防 疫 対 策 室 長

韓国における高病原性鳥インフルエンザの発生状況について

平素より家畜衛生の推進に御理解・御協力いただき感謝申し上げます。

さて、先般発出した「中国における高病原性鳥インフルエンザの発生等に伴う関係者等への指導の徹底について」（平成 26 年 10 月 27 日付け動物衛生課長通知）等において、中国及び韓国での本病の発生状況から、現在、野鳥による我が国への本病ウイルスの侵入リスクは非常に高い状況にあると考えられるため、家きん飼養農家を含む畜産関係者等に対して周知するとともに、高病原性鳥インフルエンザの発生予防措置の徹底及び監視体制の強化について再度御確認いただき、万全を期するようお願いしたところです。

現在、我が国への高病原性鳥インフルエンザの侵入リスクが、過去に例がない程の高い状況となっていることを、家きん飼養農家を含む畜産関係者等に周知いただきますようお願いします。

その際に活用していただけるよう、別紙のとおり、過去の韓国での発生状況を取りまとめましたのでお知らせします。

韓国における高病原性鳥インフルエンザの発生状況
(2014年10月30日)

(別 紙)

	発生期間	発生件数	殺処分数	血清亜型
1	2003年12月10日 ～2004年3月20日 (102日間)	19件 (鶏10件、あひる9件)	392農場 528万5,000羽	H5N1
2	2006年11月22日 ～2007年3月6日 (104日間)	7件 (鶏4件、あひる2件、うずら1件)	460農場 280万羽	H5N1
3	2008年4月1日 ～5月12日 (42日間)	33件 (鶏26件、あひる7件)	1,500農場 1,020万4,000羽	H5N1
4	2010年12月29日 ～2011年5月16日 (139日間)	53件 (鶏18件、あひる33件、うずら等2件)	286農場 647万3,000羽	H5N1
5	2014年1月16日 ～7月25日 (191日間)	212件(29件+183件※) (鶏44件、あひる159件、うずら等9件)	548農場 1,396万1,000羽	H5N8
	2014年9月24日～	1件(あひる1件) この他に5件の疑い事例等が報道されている(10月30日時点)	1農場 1万9,800羽	H5N8

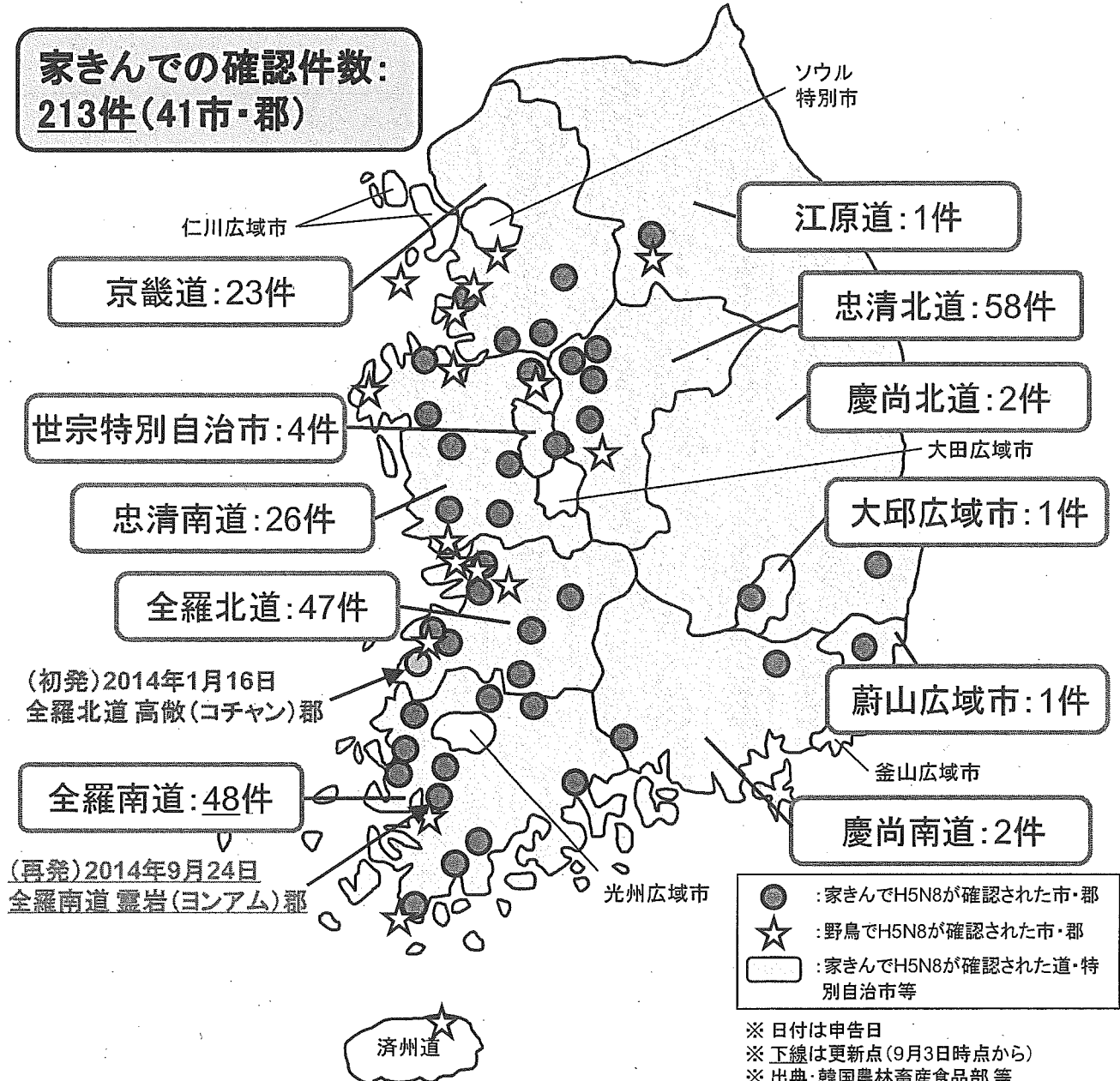
※:発生農場周辺及び疫学関連農場等において陽性が確認されたもの

出典:韓国農林畜産食品部、OIE等

2014年9月25日現在

韓国における高病原性鳥インフルエンザ (H5N8亜型)の発生状況 (2014年1月～)

**家きんでの確認件数:
213件(41市・郡)**



【家きんでの発生・対応状況】

1 発生状況(9月25日時点)

- ・韓国当局の公表している発生件数: 30件
- ・他に、発生農場周囲・疫学関連農場等183件でH5N8亜型鳥インフルエンザが確認。

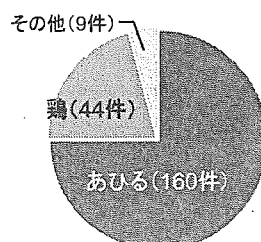
2 殺処分(9月3日時点)

- ・殺処分完了: 1,396万1千羽(548農家)
- ・発生農場、疫学関連農場、各発生農場周囲の農場(500m又は3km内を対象)

3 その他

- ・9月4日、全ての移動制限が解除されたが、9月24日、2か月ぶりに再発

家きんの種別発生件数(213件)



【野鳥での検出・対応状況】

1 野鳥検査(8月14日時点)

- ・陽性: 38件(トモエガモ10件、マガモ5件、ヒシクイ4件、カルガモ2件、コガモ2件、マガン2件、オオハクチョウ1件、ダイサギ1件、カイツブリ1件、オオバン1件、糞便等9件)

2 対応

- ・野鳥の検出地点から10km内の家きん農場の移動制限措置、30km内の家きん農場の臨床調査、周辺道路・家きん農場の消毒